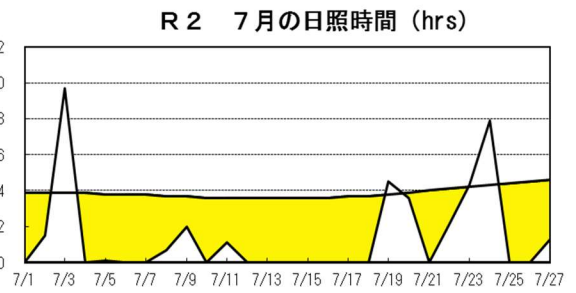
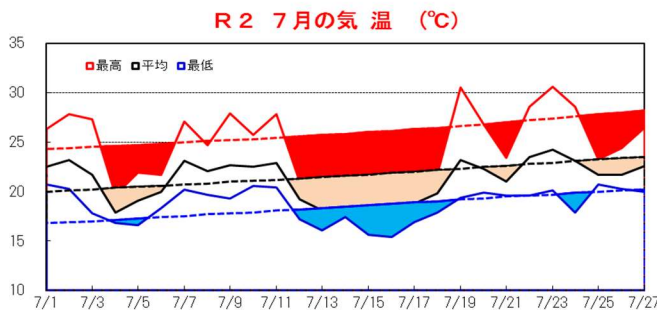
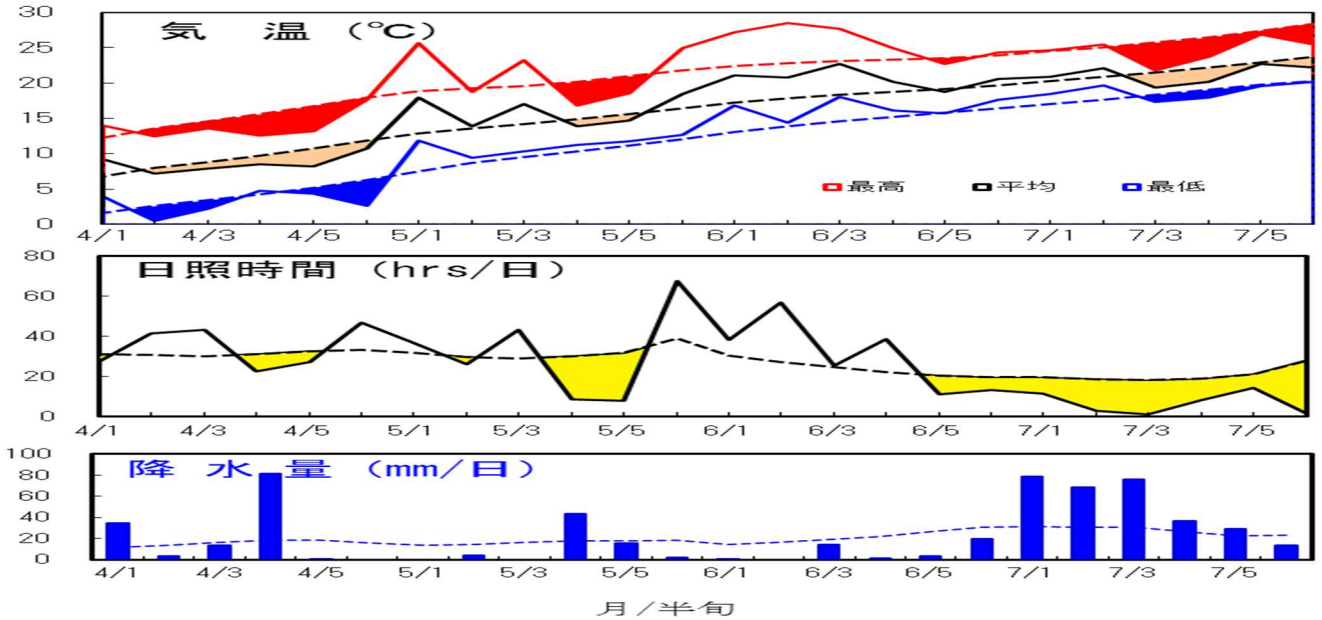


～寡照，低温傾向で軟弱気味か？・病害防除の徹底を！！～

1 気象経過と予報（令和2年4月1日～半旬毎，7月）（古川アメダス）



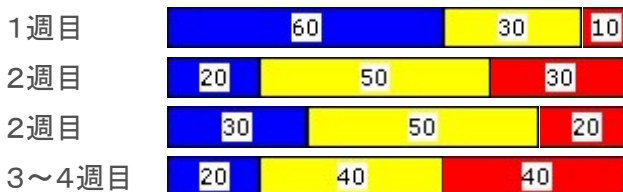
- ・気温：7月12日～18日まで低温，以後高温に転じ，以降並～やや低めに経過
- ・日照時間：7月3日～19日まで寡照，一時やや回復するものの寡照傾向継続
〔7月日照時間：R2 39時間 平年 105時間（平年対比37%）〕
- ・降水量：多雨により各地で豪雨による被害
〔7月降水量：R2 304mm 平年 150mm（平年対比202%）〕

【1ヶ月予報 7月25日～】

① 日照時間の各階級の確率



② 気温経過の各階級の確率

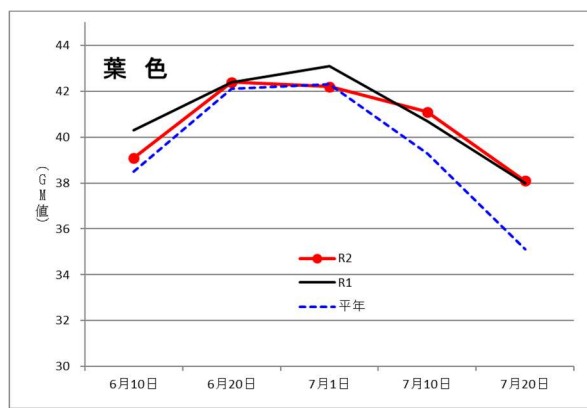
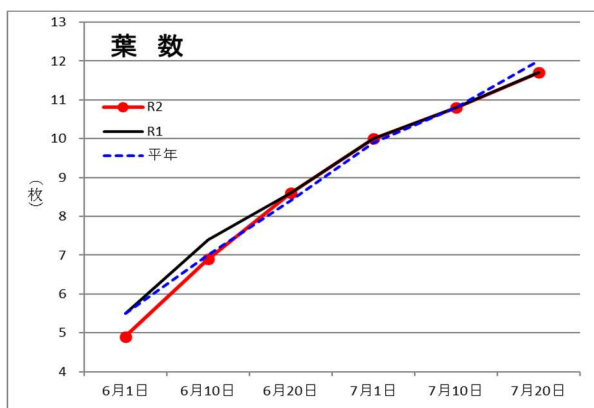
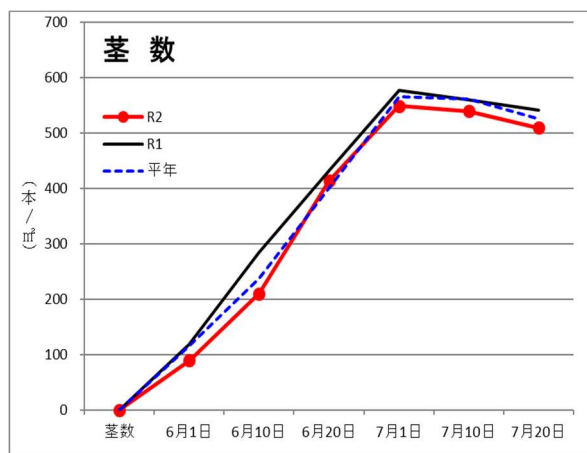
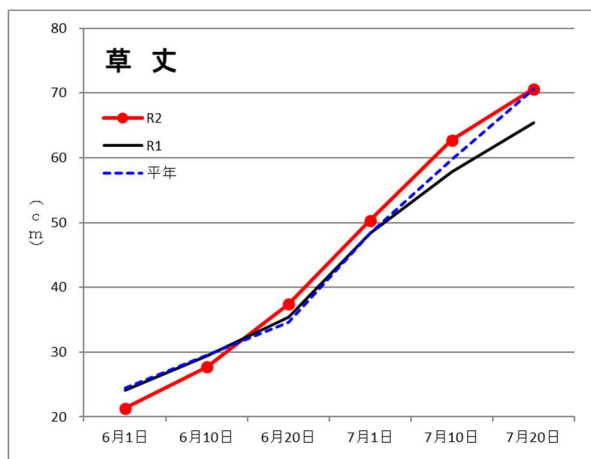


■ 低い ■ 平年並 ■ 高い

2 生育状況

(1) これまでの生育経過（宮城県生育調査圃）

- ・草丈：6月20日まで平年，前年より低めであったが，その後は高めに経過した。
- ・茎数：6月20日まで平年，前年より少なく，その後7月1日まで平年並み，それ以降は平年，前年より少なく経過した。
- ・葉数：6月20日まで少なく，その後ほぼ平年，前年並みに推移した。
- ・葉色：期間を通して平年より濃く推移し，7月10日まで前年より薄めであったがその後並みとなった。



(2) 幼穂发育状況（宮城県生育調査圃 7月20日現在）

- ・幼穂長：いずれの品種とも平年よりやや短い。ササニシキは前年より長い。
- ・幼穂形成期：いずれの品種ともほぼ平年並みの時期であった。
- ・出穂期の予想：近々の気温等から平年（8月3日）よりやや遅れると思われる。

幼穂長(7/20現在)と幼穂形成期

品種	本年 (mm)	前年差 (mm)	平年差 (mm)	幼穂形成期	
				本年	平年
ひとめぼれ	28.8	-0.6	-34.3	7月9日	7月8日
ササニシキ	23.1	8.2	-20.5	7月9日	7月9日
つや姫	1.3	-	-3.0	7月14日	7月16日
だて正夢	16.2	1.1	-	7月11日	-

3 今後の管理

(1) 低温障害回避と品質確保の水管理

- ・今後とも気象の変動が予想され、**厳重な注意**が必要である。
- ・危険期に低温が予想される地域や圃場時では、**できる限りの深水管理**とする。
- ・幼穂はかなり上部まで上がっているので、低温時は、より深くする必要がある。

※低温傾向から一転して高温になった場合、登熟初期の高温による白未熟粒の発生による品質低下を防止するため、水管理によって水稻周辺気温の低下を図る。

(2) 病害虫防除

① いもち病

- ・いもち病の感染好適日は7月11日、25日頃から断続的に県内各地で出現している。
- ・7月中旬からの寡照により稲の葉色は濃く、軟弱傾向で好適な気温（20数℃）になるといもちの発生が懸念されるため、注意が必要である。
- ・上位葉の葉いもちも穂いもちに移行し易いため、圃場を良く観察し発病を確認したら直ちに茎葉散布剤で防除する。

[薬剤は宮城県病害虫防除所の防除情報第3号を参照すること]

- ・粉剤や液剤などの茎葉散布剤による穂いもち防除は、1回目の防除を出穂直前に、2回目を穂揃期に行う。

1 発生予報

病害虫名	発生時期	発生量
葉いもち	—	やや多

病害虫名	発生時期 (発生初期)	発生量
穂いもち	平年並 (8月第4半旬:8/16~8/20)	やや多

2 アメダス資料による葉いもちの感染好適条件の出現状況 (●いもち病 発生好適条件)

日付	駒ノ湯	気仙沼	川渡	築館	米山	志津川	古川	桃生	大衡	鹿島台	東松島	石巻	女川	新川	塩釜	江ノ島	仙台	名取	白石	蔵王	亘理	丸森
7/11	—	●	—	●	●	●	—	●	●	●	●	●	—	●	●	—	—	—	—	—	●	●
7/12	●	●	—	—	●	△	△	●	●	●	●	—	●	●	●	●	—	—	●	●	—	—
7/13	△	△	△	●	△	●	△	●	△	△	●	—	●	—	●	—	△	—	—	—	△	●
7/25	—	—	—	—	●	—	—	—	●	—	—	—	—	●	●	△	●	●	●	●	●	●
7/26	—	—	●	●	●	●	△	●	●	●	●	—	—	●	●	—	●	●	●	●	●	●

